

これがオススメ! 読み聞かせ本

低学年

指導要領で読み聞かせがすすめられて、読み聞かせについてのたくさん
の本が出版されています。また、ブックリストもたくさん出ていますが、さ
て実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がいいのか、どうやって読
んであげたらいいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞かせが
できるよ」という本と読み方を紹介しましょう。

子どもたちに「大きくなる
ってどういうこと」って聞いて
みました。子どもたちは、
言葉通り、

体の成長の
意味だけを
感じている
ようです。

この本を
読んであげ
た1年生の
3学期に子
どもたちに、

「大きくなるってどういうこと
は、たとえばどんなこと？」って
聞いてみました。

「お友だちがふえるって
いうこと」、「りょうりが作れる
っていうこと」、「けいさんが
はやくなるっていうこと」な
ど、いろいろ出てきました。
「だんだんいそがしくなるっ
ていうこと」なんていうのも
ありました。「お友だちがふえ
ること」って、素敵だなあと
思いました。昨日までできな
かったことができるようになって
いった。分からなかったことが
分かるようになった。そんな
普段意識していなかったこと
をこの絵本でちよっぴり意識

できた子どもたちでした。
そのまま読んであげても楽
しい絵本です。子どもたちに



『おおきくなるって いうことは』

中川ひろたか／文 村上康成／絵
(童心社)

とっての「大きくなる」とい
う気持ちにぴったりあってい
て、体と心の成長がユーモア
たっぷりの絵で表現されてい
ます。何かちょっととした区切
りのときに読んであげると、
「おおきくなるっていうこと」
の意味が子どもたちにより伝
わる絵本です。新学期や進級
を控えた3月の時期、また、
お誕生会のときや弟や妹が生
まれたというお知らせをもら
ったときなどに読んであげる
のもいいかもしれません。
読んであげること、先生
方も子どもたちの成長を改め
て感じるかもしれない、そん
な絵本です。